

人間関係講座（グループ）第92回 [春]

-グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	坂中 正義（南山大学人文学部心理人間学科教授） 土屋 耕治（南山大学人文学部心理人間学部講師）
概要	<p>この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの中での人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。1つの講座は2日間のプログラムで構成しています。</p> <p>私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の1つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容（コンテンツ）に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。</p> <p>この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。</p> <ol style="list-style-type: none">①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく②「コンテンツ」と「プロセス」とは何かを理解する③グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向ける重要性に気づく <p>この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習（典型的な実習）と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めていきます。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。</p> <p>【プログラムの内容（予定）】</p> <p>小講義「人間関係を体験から学ぶ」「体験学習のサイクル」「コンテンツとプロセス」 「グループプロセスとは?」「グループでの意思決定」など グループでの問題解決実習（実習「東京観光」等）とふりかえり グループでの創造的実習（実習「ブロックモデル」等）とふりかえり グループでのコンセンサス実習（実習「ボランティア」等）とふりかえり</p>
日程	2014年6月14日（土） 10:00~18:00 6月15日（日） 9:00~17:00 土日集中
定員	36名
会場	南山大学 R棟 R65・66教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 坂中 正義 記</p> <p>6月14日と15日の2日間にわたって、南山大学R65・66教室にて『第92回人間関係講座(グループ)』が開催されました。この講座は、ラボラトリー方式の体験学習の入門講座と位置づけられており、2日間のプログラムで構成されています。グループの中で他者と関わる際の自分の特徴に気づくことなどが目標に掲げられていました。</p> <p>いくつかの小グループでの実習の間に、ラボラトリー方式の体験学習の基本的な考え方の紹介を織り交ぜながら、体験・ふり返り・新たな体験という流れで講座は進行して行きました。</p> <p>私が体験学習に興味深く思っていることの一つは、実習前に頭で思い描くことと、相手を目の前にしたときに起こってくること（相手との間に起こること、自分の中に起こることなど）が異なるということです。そういえばそうなのかも知れないのですが、生身の相手を目の前にすると、色々なことが心にめぐります。</p> <p>私ども講師も受講生の皆さんの様子を前に、考える機会をもらいます。今回特に考えたのは、自分の体験に言葉を与える、ということについてです。上記のように心にめぐる様々なことにどうやって言葉を与えるのか。体験を通して感じるということと同時に、体験・ふりかえり・わかちあいの中で言葉を使っていきながら、そして、体験の度にその言葉の精度を上げながら進んでいくということが、体験学習において大切なのだろうと改めて考えることとなりました。</p> <p>私ども講師も受講生の皆さんの力を感じながら、新しく学ぶ時間となりました。皆さんのそれぞれの現場（職場、学校、家庭など）での益々のご活躍を祈念しております。</p>